

## 平成28年度 堺市と関西大学との地域連携事業

堺市では、さまざまな事情で家族と離れて生活しなければならない子どもたちが約350人います。そうした子どもたちのほとんどは、乳児院や児童養護施設で生活を送っており、里親家庭で生活している子どもは1割に達していません。

家庭生活や特定の大人との愛着形成ができる環境を築くため、堺市では、里親制度の普及に取り組んでいます。映画鑑賞やパネルディスカッションを通して、施設や里親家庭など社会的養護の下で暮らす子どもたちの将来を、みなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

◆日 時 平成28年10月8日(土) 13:30～16:30(13:00 受付開始)

◆場 所 関西大学堺キャンパス B棟 3階 SB302 教室 (南海高野線「浅香山」駅下車すぐ)

◆対 象 堺市民、その他(定員200名)

◆参加費 無料

◆プログラム 13:40～15:10 映画上映会 タイトル「少年と自転車」

15:20～16:20 パネルディスカッション「堺市における里親の近未来を考える」

パネリスト：南出 和余(桃山学院大学 国際教養学部准教授)

堺市の養育里親

里親支援専門相談員(堺市の児童養護施設職員)

司 会：福田 公教(関西大学 人間健康学部准教授)

パネルディスカッション終了後、ご希望の方からの里親相談をお受けします。

◆申込締切 9月23日(金)必着

### ◆少年と自転車◆

もうすぐ12歳になる少年シリル。彼の願いは、自分を児童養護施設へ預けた父親を見つけ出し、再び一緒に暮らすこと。ある日、シリルは美容師のサマンサと出会い、サマンサが里親として、週末にシリルと過ごすようになる。自転車で街を駆けまわり、サマンサと共にようやく父親を探しあてたシリルだったが、父親の態度はすげない。そればかりか、「二度と会いに来るな」と言い放たれる。シリルが実の親に再び捨てられる姿を目の当たりにしたサマンサは、恋人との間に軋轢を生んでしまうほど、それまで以上にシリルと真摯に向き合うようになる。サマンサとのふれあいのなかで、シリルの心も変化し始める。だが、シリルが起こしたある事件がきっかけでシリルは窮地に追い込まれる。これは、人と人がつながることから生まれるささやかな希望を、綿密に描き出した「大きな愛の物語」である。 第64回カンヌ国際映画祭コンペ部門グランプリ受賞

----- キリトリ -----

【お問合せ・申込先】 以下を記入し、はがき、FAXまたはEメールにてお申し込みください。

〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町1丁11-1 関西大学堺キャンパス事務室 地域連携担当

「社会的養護の普及・啓発および社会的養護下にある子どもの自立支援事業」係

TEL：072-229-5024 FAX：072-229-5082 Eメール：sakai-info@ml.kandai.jp

| お 名 前 | 住 所 | 連絡方法 (TEL/ FAX) |
|-------|-----|-----------------|
|       |     |                 |
|       |     |                 |